

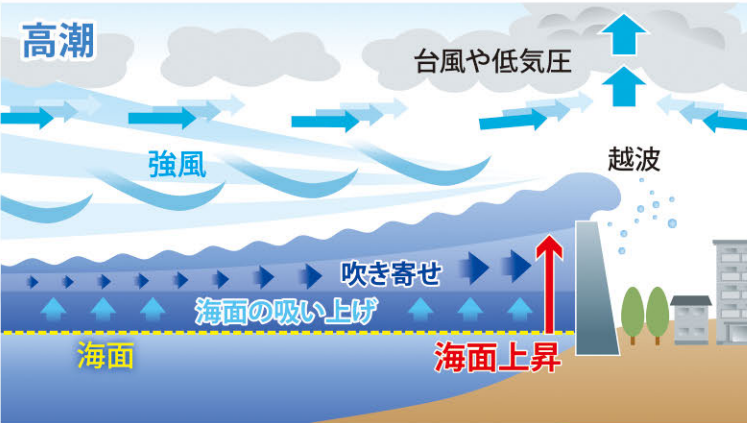
はじめに

■ 高潮ハザードマップとは

この高潮ハザードマップは、台風などの影響により、海面が異常に上昇し、堤防を越えた場合の浸水想定結果に基づいて、浸水が想定される区域や浸水の程度、避難場所等を示して、住民の皆さんの避難に役立つよう作成したものです。

このマップに示した高潮浸水想定区域は、山口県が令和4年5月に公表した「山口南沿岸 高潮浸水想定区域図」に基づき作成しました。なお、本マップで示している区域以外でも浸水する可能性があります。実際の浸水深は、想定最大浸水深より深くなる場合があるので、ご注意ください。

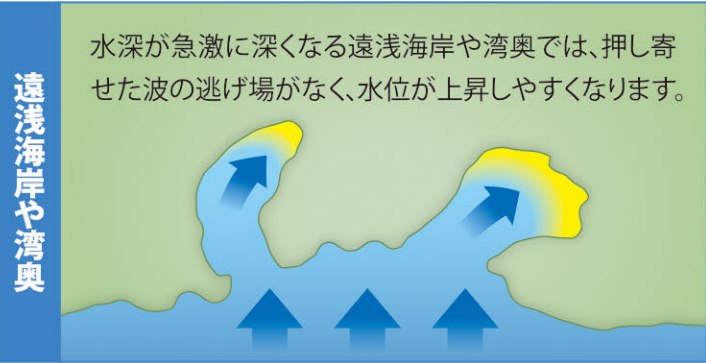
■ 高潮発生のしくみ



高潮とは台風や発達した低気圧や風の吹き寄せによって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。満潮時と重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。また、大雨により河川の水位が上昇している場合、河口付近ではさらに水位が高くなるおそれがあります。

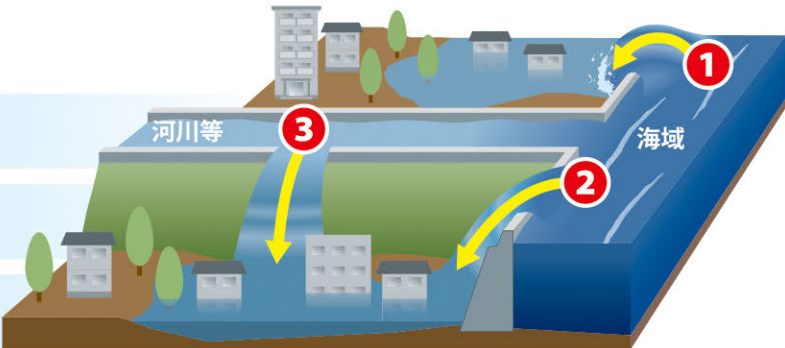
■ 高潮の被害を受けやすい場所

高潮による海面上昇は、海底地形や海岸形状によって大きく異なります。次のような場所では高潮災害に対する警戒が特に必要です。



■ 高潮による主な浸水原因

- ① 高波 による堤防・護岸からの 越波
- ② 高潮 による堤防・護岸からの 越流
- ③ 洪水 による河川堤防からの 越流



高潮の想定条件

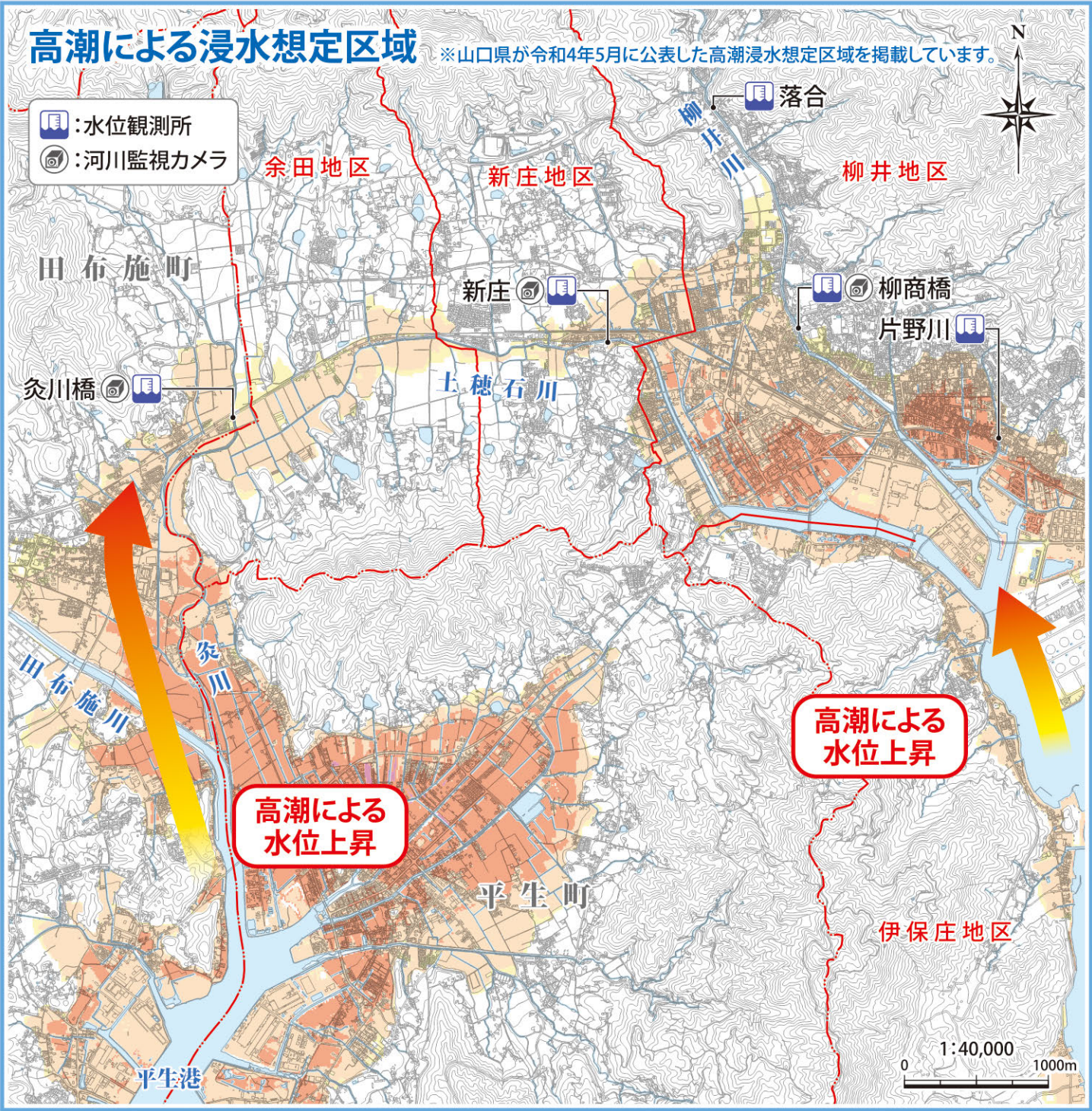
想定する
台風の規模

- 中心気圧:910hPa(室戸台風)
- 台風の移動速度:73km/h(伊勢湾台風)

想定する台風は、最悪の事態を想定し、我が国における既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位偏差が最大となるよう複数の台風経路を設定しています。

新庄地区・余田地区の高潮浸水について

新庄地区と余田地区の一部地域では、台風による高潮と大雨が重なった場合に、灸川や土穂石川が氾濫し、浸水や洪水が発生する危険性が高くなります。



警戒レベルと避難情報

避難情報等は、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルを用いて発令します。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。なお、警戒レベルは低い順から出るとは限りません。いきなり「警戒レベル4 避難指示」を発令することがあります。

警戒レベル	状 況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1
..... 警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・高潮注意報 (気象庁)
1	今後 気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市が災害の状況を確実に把握できるものはない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。
※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

水平避難と垂直避難

高潮などの水害時では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難場所への移動(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い、救助を待つという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難を行うことも必要です。



マイタイムラインをつくろう

「マイタイムライン」は、災害時に自分と家族がとるべき避難行動のタイミングを整理した行動計画表です。あらかじめ作成しておくことで、災害時の避難行動に役立ちます。災害のおそれがある場合は、避難情報や防災気象情報をこまめに確認し、マイタイムラインを参考にして、臨機応変に避難行動の実行を判断してください。

平時

日頃から

台風接近のおそれ

避難開始時期

災害発生

気象・避難情報	あらかじめ確認しておくこと／行動内容	
	☐ ハザードマップで自分の住んでいる場所の災害リスクを確認 ☒ 自宅が浸水想定区域内に ☐ ある(浸水深 m) ☐ ない ☐ 避難する場所の確認 ☒ 避難する場所: ☒ 移動時間: 分 ☒ 移動方法: ☐ 避難の際、支援が必要な家族・知人の確認 ☒ 名前: 電話番号: ☒ 名前: 電話番号: ☐ 避難の際、支援してくれる人の確認 ☒ 名前: 電話番号: ☒ 名前: 電話番号: ☐ 非常持ち出し袋を準備 →P.6を参考にチェック!	
台風接近の予報	☐ 非常持ち出し品リストの確認 ☐ 1週間分の常備薬を確保 ☐ テレビの天気予報を確認 ☐ 家族の今後の予定を確認	☐ 防災情報の取得方法を確認 テレビdボタン ☐ 親類や知人宅への避難を検討
警戒レベル1 早期注意情報		
警戒レベル2 レベル2 高潮注意報	☐ ハザードマップを確認 ☐ 避難しやすい服装に着替える ☐ 携帯電話を充電しておく	
レベル3 高潮警報	☐ インターネット等で潮位情報を確認 ☐ テレビ等で気象情報を確認	
警戒レベル3 高齢者等避難		
レベル4 高潮危険警報	☐ 避難場所等への避難を完了	
警戒レベル4 避難指示	避難が必要な方はこの時点までに全員、安全な場所に避難完了するよう行動を!	
レベル5 高潮特別警報	※避難が完了していない場合は直ちに避難開始	
警戒レベル5 緊急安全確保	※外に出ることが危険な場合は、建物内の安全な場所で身の安全を確保する	

※適用日: 令和8年5月29日

避難の心得

いざという時のために、日ごろから避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。



状況により、すばやく避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、気象状況などから判断し、自主的に避難しましょう。



防災メモを持とう

高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。



車での避難は控えて

車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。



持ち出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



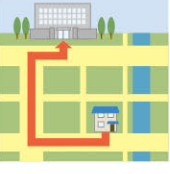
家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。



集団で助け合おう

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



安全なルートで避難

避難所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



避難所では指示に従いましょう

避難所に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

日頃の備え

家屋やその周囲の点検・修理・補強を行い、十分な対策を講じておきましょう。

外壁

●モルタルの壁に亀裂はありませんか

ベランダ

●植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険はありませんか

ブロック塀

●傾きやひび割れ、破損している箇所はありませんか

排水溝

●側溝や雨水ますにゴミや土砂はありませんか

窓

●窓枠のがたつきはありませんか
●雨戸にがたつきはありませんか

屋根・雨どい

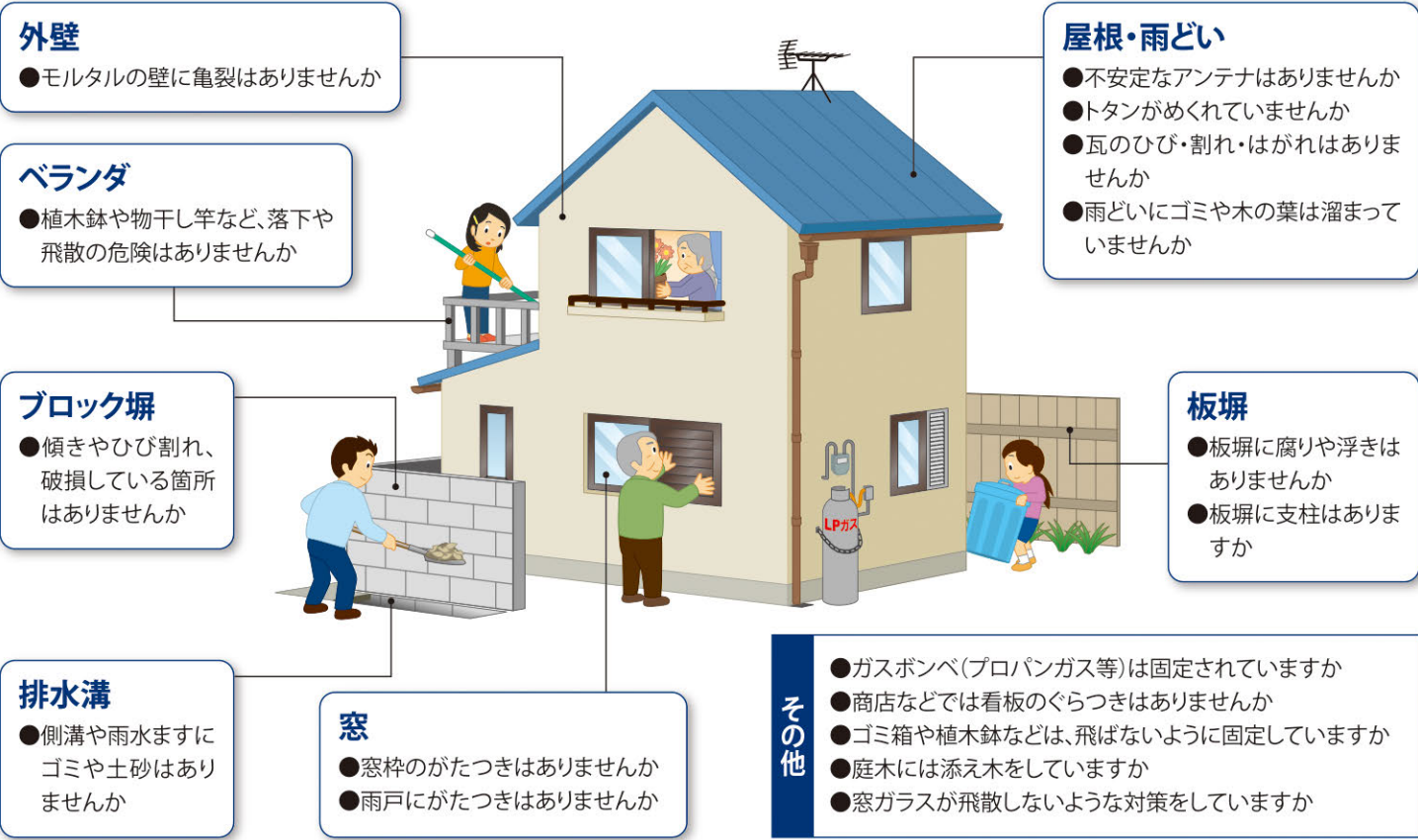
●不安定なアンテナはありませんか
●トタンがめくれていますか
●瓦のひび・割れ・はがれはありませんか
●雨どいにゴミや木の葉は溜まっていますか

板塀

●板塀に腐りや浮きはありませんか
●板塀に支柱はありますか

その他

●ガスボンベ(プロパンガス等)は固定されていますか
●商店などでは看板のぐらつきはありませんか
●ゴミ箱や植木鉢などは、飛ばないように固定していますか
●庭木には添え木をしていますか
●窓ガラスが飛散しないような対策をしていますか



非常持ち出し品

災害の危険が迫っているときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料

☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安)
☐ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など)
☐ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど)
☐ 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)

日頃から、7日分の食料と飲料水を、備蓄品として常備しておきましょう。

救急・安全対策

☐ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など)
☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう
☐ 傷薬、消毒薬
☐ 持病のある方の薬
☐ ヘルメット、防災ずきん
☐ ホイッスル

貴重品

☐ 現金(小銭)
☐ 預貯金通帳、印鑑
☐ クレジットカード類
☐ 健康保険証
☐ マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)

衣類など

☐ 衣類(厚手の物と薄手の物)
☐ 下着類
☐ タオル、毛布
☐ 手袋、軍手
☐ 寝袋
☐ 雨具

日用品など

☐ ビニール袋
☐ 新聞紙
☐ ライター
☐ ナイフ、缶切り
☐ ティッシュペーパー
☐ ウエットティッシュ
☐ 懐中電灯(予備電池)
☐ 携帯ラジオ(予備電池)

☐ 携帯電話(充電器・バッテリー)
☐ 筆記用具(油性マジック)
☐ 洗面用具
☐ メガネ
☐ マスク
☐ 使い捨てカイロ
☐ 紙おむつ
☐ 生理用品

☐ 体温計
☐ 手指消毒液
☐ 布ガムテープ
☐ ロープ
☐ 地図(ハザードマップ)



要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

●おぶって安全な場所まで避難する。
●複数の介助者で対応する。



目の不自由な方

●声をかけ情報を伝える。
●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩手前をゆっくり歩く。



肢体の不自由な方(車椅子)

●階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
●介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



耳の不自由な方

●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。



避難施設一覧

※【別紙】指定避難所一覧・指定緊急避難場所一覧で最新の情報をご確認ください。

■ 指定避難所一覧

名 称	所在地	名 称	所在地
柳東小学校体育館	柳井964-1	伊陸小学校体育館	伊陸5856-1
柳東文化会館	柳井1029	伊陸地区体育館	伊陸12442
柳井小学校体育館	柳井3680-4	アクアヒルやない	新庄1326-1
柳井市文化福祉会館	柳井3718	新庄小学校体育館	新庄2614
柳井中学校体育館	柳井4155	余田小学校体育館	余田1419
ふれあいどころ437	日積4150-1	大畠小学校体育館	大畠757-2

■ 指定緊急避難場所一覧

名 称	所在地	名 称	所在地
柳東小学校	柳井964-1	新庄公民館	新庄327-1
柳東文化会館	柳井1029	アクアヒルやない	新庄1326-1
岡ノ上公園	姫田2	アデリーホシパーク (柳井ウェルネスパーク)	新庄1326-1
サンビームやない駐車場	柳井3670-1	やまぐちフラワーランド	新庄500-1
柳井小学校	柳井3680-4	柳井西中学校	余田2111
旧柳井商業高校グラウンド	柳井3776-2	余田小学校	余田1419
柳井市文化福祉会館	柳井3718	余田公民館	余田1419
柳井中学校	柳井4155	柳井商工高校	伊保庄2658
柳北小学校	柳井5025	星の見える丘工房	伊保庄1484-45
日積公民館	日積4142-5	平郡西へき地集会所	平郡4836-2
日積小学校	日積6951	平郡東小学校体育館	平郡1843
ふれあいどころ437	日積4150-1	神代地区グラウンド	神代4110
伊陸公民館	伊陸5856-1	大畠グラウンド	神代1675-1
伊陸小学校	伊陸5856-1	大畠中学校	神代4273
伊陸地区体育館・伊陸グラウンド	伊陸12442	大畠小学校	大畠757-2
新庄小学校	新庄2614	遠崎地区体育館・グラウンド	遠崎340